

やすらぎ

平成21年7月1日
〔第123号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

平成21年「伝統の日」感謝の集い

《柏会場》



6月7日(日)、素晴らしい快晴の天気になった。千葉県柏市の(財)モラロジー研究所に於いて、「平成21年伝統の日 感謝の集い」が開催されました。今年は、新型インフルエンザ感染の影響が心配される中、全国各地から、台湾からの7名の参集を合わせて約1万名のモラロジアンが参集しました。

「感謝の集い」は、次第の通り、午前11時に開会。国歌斉唱、たくさんの恩人の恩恵と諸伝統に感謝し黙想、『この1年の歩み』のビデオ上映の後廣池幹堂理事長の挨拶がありました。

廣池理事長は、まず、モラロジーの生涯学習、累代教育などが高い評価を受けていることや天皇陛下ご即位20年、ご成婚50年という祝賀ムードの中で現在のわが国の深刻な問題(政治、経済、社会)について、「原因は利己的人間ができたこと、教育の失敗に気づかなければいけない。道徳心を育てるには家庭において正しいことを伝えよう」と話されました。

最後に麗澤中学、高等学校吹奏楽部による廣池千九郎讃歌 交声曲「稀人」の演奏、全員で「ひびけ世界のあら磯に」を合唱して午後12時30分閉会になりました。

午後から中央広場の特設ステージで行われて

いた麗澤大学軽音楽部(サニーゲイツ)の演奏を聴きながら昼食をいただきました。また、研修館に出展されている第16回モラロジアン芸術展や天皇陛下ご即位20年記念写真展の見学をして来ました。

6月6日(土)には、奉斎者慰霊式が霊堂で、精神伝統に学ぶ会が第2体育館で行われたようです。

私事ですが、柏会場の「伝統の日 感謝の集い」に参加したのは、何故か？今回は今までとは違った気がする。5月の連休前に行くことと決意して計画し始めた。始めは、当日(6月7日(日))早朝から始発電車(檀原神宮前 5:13 発)に乗って日帰りを計画。少し無理を感じ、前日より行って東京の親戚でお世話になることに変更。最寄りのバス停までの送迎、食事とすべてお世話になりました。

翌朝、バスと電車を乗り継いで午前9時30分



過ぎ、モラロジー研究所に到着。バスから降りると酒井克一副部長(近畿ブロック)が資料の配布をしておられ、すぐに麗澤館へ行き、記帳と挨拶。廣池千九郎博士と廣池家の墓参、諸先輩が納骨さ

れている納骨堂に行って来ました。途中、柴田修さんご夫婦、高谷哲司さんとお孫さん(大和ふたかみ)、和歌山の山添さんにお会いすることができ、懐かしくお話ができました。また山田悦雄さんご夫婦と平井末治さんご夫婦(五條)にもお会いすることができました。その後、先に来られて



いた細川参与夫婦と富士奥様に迎えられ、第1会場(第1体育館)の参与席(普段座ることのできない席)で式典を聴くことができました。

研究所内では、時間が立つのを忘れるぐらいゆっくりすることができ、大変充実した1日を過ごし、午後3時過ぎ帰路に着きました。

1日を通して気づきがありました。ひとつでも何か実行できることをしていこうと思います。また、新型インフルエンザについては参列者の自粛もあり、マスクの持参や至る所に消毒液の準備や手洗い、うがいの励行などが呼びかけられていたため何事もなく無事、帰ってくることができました。

南 貞好

《瑞浪会場》

6月14日(日)朝6時前に集合し、瑞浪会場で行われる『伝統の日』感謝の集いに参加するためバスに乗り込み御所を出発致しました。

車中では、吉田代表世話人から挨拶、また初参加者の吉田武次さんの紹介がありました。今回は17名の参加で、車中はゆったりとくつろぎながら岐阜県の中日本生涯学習センターを目指しました。

9時20分ぐらいに目的地に無事到着し、麗澤館に挨拶に行ってから会場へ向かいました。10時30分より開会し、廣池理事長の挨拶がありました。

理事長は、「今日の私達の生活は、多くの恩人の方の計り知れない恩恵によって豊かな文化と生活が築かれています。この伝統の日を機に、人類の安心・平和・幸福の実現という、モラロジー創建の目的を再確認し、皆様と共にその実現に向けて参りましょう」と力強く話されていたのがとても印象的でした。最後に「ひびけ世界のあら磯に」を合唱して12時に閉会しました。



昼食は、芝生の上にダンボールを敷きみんなで集まって弁当を頂きました。

昼食後、芸術展や物産展を回り買い物を楽しんだ後、14時会場をあとにしました。帰りの車中では、恒例のビンゴ大会を行い、今年の景品は今までとは違いネクタイや財布、ハンドバックなど皆さんが喜ぶ様な景品を用意することが出来ました。まず、ビンゴを行い1位から17位までを決め、最後に表彰を行う形式をとらせて頂きました。景品は、11個用意させて頂いたので、6名の方は残念ながらもらえませんでした。もらえるかどうかと言うドキドキ感もあり、楽しい表彰式となりました。最後に、倉本副代表世話人が挨拶をして、17時30分ごろ無事に御所へ帰って来ることが出来ました。

今回は、研修委員がお世話をさせて頂くことになったので、何もわからない私が担当させて頂きました。サポートをして下さった上田均さんや

参加者の皆さんに温かく見守られ無事に大役を果たす事が出来ました。私にとっても、ある意味「感謝の集い」となりました。景品や準備を手伝ってくださった方々のご協力に感謝しております。ありがとうございました。

細川 成樹

お遍路さん西日本最高峰へ上がる

5月23日(土)は歩こう会の遍路歩き。恒例の超早朝出発4時となっているので、前夜はモロロジーの運営委員会が終わるや、急いで帰宅。調達してある8人乗り、ETC付きハイブリッドカーをガソリン満タンにしてきた。あわただしく準備をして(忘れ物があるのだろうと不安)11時に就寝し、3時起床。4時間の睡眠は確保したが・・・

参加メンバーは5人。午前4時暗い事務所を出発。すぐに明るくなりだし、阪神高速で兵庫県に入る頃に日の出に。いつものように明石海峡大橋を渡って淡路島に入ってサービスエリアで休憩。鳴門を渡り、徳島から今回は高松自動車道を走る。

61番の札所香園寺(こうおんじ)は愛媛県西条市にある。今までにない壮大な近代建築、鉄筋コンクリートの市民会館か公会堂かといった建物に驚かされる。



早速、いつもの通り、線香、ろうそくをあげ、札を納め、賽銭を投じる。やはり準備不足。ろうそく、線香が足りないし。賽銭が足りない。お札に今日の日にと住所氏名願い事を記入するのだ

が、その準備をしていないのであわてる。本堂のお参りを済ませ、次は大師堂、それを済ませて、納経する。納経帳に記帳してもらって、お姿の紙片を頂く。寺の名の通り梅檀(せんだん)の古木があり、今が満開。

次の62番、その次と街中を歩く。63番吉祥寺(きっしょうじ)には「くぐり吉祥天像」がありこれをくぐると願いが叶うと。また、穴の開いた「成就石」あり、目を閉じてこの穴に金剛杖を通せばよい。スイカ割りの要領で皆さん挑戦。

さて昼食でもと国道沿いに捜し歩くが、食べ物屋らしきものは見つからず、どんどん歩くうちに次の札所64番前神寺(まえがみじ)に到着してしまう。

ここは役行者が開基した寺で、石鎚山修験道の総本山。石鎚山頂近くに奥前神寺があり、7月1日のお山開きには白装束の多数の信者さんが、ここから山に登るといふ。お参りを済ませ、JRで伊予小松まで戻り、ようよう1軒のラーメン屋を見つけ遅い昼食。

香園寺駐車場に置いた車に乗って、離れている60番横峰寺(よこみねじ)を目指す。横峰寺は山の上であり、瀬戸内海が眼下に見える。これで今回の遍路歩きは終了、次は西日本最高峰の1982m石鎚山を目指す。

石鎚山ロープウェイで1300mの山頂成就(じょうじゅ)駅へ。男性の山伏に混じって女性の山伏姿を見る。故郷の大峰山では見ない、奇異な感じ。

そこから20分余り歩いて、本日の宿泊宿、成就社の玉屋到着。夜食を頂きながら、宿の主人の話聞く。法螺貝の名手らしい。「吹いてみませんか」とやらせてもらったが、スースーと全く音が出ない。テレビはタイミングよく、深田久弥の「日本百名山」をやっている、石鎚山を大寫しで紹介している。

翌24日、9時間も睡眠を取っただろうか。玉屋は標高1400mくらい。朝の気温12度C、窓外はガスいっぱい。

8時、吉井さんの知人の菅さんと女性の熱心な

信者さん別府さんが始発のロープウェイで上がって来た。菅さんは石鎚山修験道の熱心な信者さんで、古参の先達。参拝の仕方から、お山の登り方まで親切に教えてくれる。お山の入り口と言える石鎚神社成就社、見返り社にて法螺貝を吹き、大祓詞を唱えかしわ手を打つ、参拝を丁寧に行な



う。

神門が登山口となっていて、ここをくぐると登山の開始だ。天気はどんどん良くなり、快晴に。1時間近く、ぶな、みずならの巨木の林立するよく整備された登山道を歩くと、「ためしの鎖」が現れた。私と均ちゃんが代表で挑戦することになった。20センチもある鉄の輪が延々と繋がった鎖場を登る。中々のものである。頑張って30m余りを登りきった時、突然均ちゃんが「あ、ここでしたわ」。彼が30年前風雨の中を会社の上司に連れられて、頂上と思って登った場所である。頂上はまだこの地点からは標高差400m、1時間以上ある。

南無大師遍照金剛と背中に書かれた白衣を着たお遍路さんが石鎚山に登るのは珍しいよう。皆に驚いたように見られる(咎めるようでなく、どちらかといえば賞賛)。そう言えばここは神道、神の山、修験道の山。でも昔は神仏混交。弘法大師もここで修行されたのでは。

続いて1の鎖、2の鎖、3の鎖と大変難所の行場がやってくる。鎖の手前では菅さんの厄除けの法螺が鳴り、清めの塩を頂いて、全員無事完登。12時きっかりに山頂に立つ。石鎚山1982m、西

日本最高峰の頂上である。天気はよく、見渡す限り障害物のない絶好の360度の展望。立って

いる山頂から少しはなれて、写真でおなじみの天狗岳の鋭鋒が目に入る。



山頂石鎚

神社に菅さんの導師で丁寧にお参りし、社の内部にも特別入れていただき、3体の御神像にも触れお参りをする。山上は比較的広く、登山者は30人もいただろうか。神主さんが常駐され、宿泊所もあり、一般の登山者も泊まれるようだ。昼食を



ゆっくりと頂く。宿屋で造って貰ったおにぎりに、定番のコンビニざるそばである事は言うま

でもない。

ゆったりと時間をすごした後、慎重に下山開始。鎖場は迂回しどんどん下る。途中から雲が出始め、雨が降り出し、スコールとなった。元の登山口の成就社、見返り社にお礼参拝し、宿にお礼を言ってロープウェイに乗る。

石鎚山は良かった。天気よし(最後に雨があったが)、山よし、ガイド更によし。堪能する。また、積雪期に来たし。

遍路も60番横峰寺、61番香園寺、62番宝寿



寺、63 番吉祥寺、64 番前神寺の 5 ケ寺を歩き、充実の 2 日だった。帰りの道中、残された寺の話になり、残りは愛媛今治の 6 ケ寺と香川県の 24 ケ寺の 30 ケ寺。66%が終わったことになり、「結願（けちがん）まであと 2 回、いや 3 回か」という話になっています。

帰りは徳島自動車道を走り、徳島のいつもの豚カツ屋で精進落としをしたことは言うまでもない。

高速道路の割引とハイブリッドカーの低燃費で 1 人当たり 17,700 円と安価な遍路旅行になりました。帰宅は少し遅くなり、11 時 PM 御所着。

南無大師遍照金剛、めでたし、めでたし。

とく

生かして歩く

= 歩（あゆ）み禅 =

西暦 2010 年も間近、平城遷都 1300 年記念祭は県人こぞっての事業になる。

「大和には 群山（むらやま）ありと とりよるふ、天（あめ）の香具山

登り立ち 国見をすれば 国原（くにはら）は煙立ち立つ 海原（うなはら）はかもめ立ち立つ うまし国そ あきづ島 大和の国は」

舒明天皇の御製歌、大和を中心とした、豊かな天皇の世界として歌われている。わずか日本の国土の 1000 分の 1 の面積しかない、青垣山に囲まれた狭い盆地で、飛鳥京、藤原京そして平城京へと日本の華がひらいていった。

「やすらぎ」から時期を同じくして、またとないういチャンスをいただいた。この世の中で血まなこになって金儲けにはげみ、バブルがはじけ、みんなに心配をかけ、切羽（せっぱ）詰まった時、伴侶の慈愛にふれ、そして永らく土にもぐった。土中で座禅を組んだ。夜も昼も、何をなすべきか、どうすべきか、正しい人間のつとめの道を行なうことの大切さを、はっきりつかもうとした。

以後 10 年余り過ぎ去ったところに、外の樹の上

で蝉が泣いていた。我もまた枝に止まり、周囲を探して見たが師はいなかった。数年の間、脱皮を繰返している内に、凡夫にも凡夫としての悟りらしきものを知った。師は人にあらず、各々の人達の理性とその行動にあると。

近頃、ある従妹（いとこ）からたびたびお声がかかってくる。ひと月に 2 回、彼女の自宅で、およそ 100 人たらずの新種の座禅会に呼ばれることに余儀無くはまっている。彼女は元小学校長で、退職後行方知らず、世の中に不義理しているかと思っていたら、「はり、きゅう」の資格をとって、町のお寺でせつせと治療のお手伝いにはげんでいた。ところが今、彼女はこちらに執心を傾けてくる。臨済とか曹洞でなく、よくわからないが、遺伝子を同じくする縁（えにし）もあり、虜（とりこ）になっている。

昨年から、1 日 2 万歩も歩かれる先駆者がおられて、自分も「ものまね」ながら、1 ヶ月、45 万歩を歩いている。おかげで血液検査の結果、数値が全て規定内へと移入してしまった。

人は心がもとの病みつづける。病むと歩く。時にとことん歩きとおす。すると「なやみ」も足の疲れと同じように、疲れてしまう。歩いて世の人々へ観光案内ではげもうと思っている。歩くと何かの「課題」が頭にうかぶ。そしてその課題と二人して歩く。

親しい友人達が同行二人、弘法大師と歩いておられることがある。歩くとモラロジアンになり、冥土へと近寄って行く気がする。



トーマス・マツムラ

運営委員会報告

6月の運営委員会は6月22日(月)午後8時より事務所で開催され、委員12人が出席しました。

吉田代表世話人は「昨日は、夏至でした。これから事務所行事が続きます(7月:維持員研修会、8月:生涯学習セミナー事務所開き、9月:生涯学習セミナー)が、身体に気をつけて頑張ってください」と挨拶し議事に入りました。

報告事項

1. 第13回生涯学習セミナー準備状況について(岡川福弘実行委員長)
 - ・8月4日(火)第13回生涯学習セミナー事務所開きをします。講師は未定。
 - ・役割表(案)で女性クラブ、青年クラブの名簿を7月15日(水)までに提出。
 - ・7月15日(水)実行委員会を開催します。
 - ・リーフレット(案)が完成し、全員で確認しました。
 - ・テーマ 心がつくる人生 今こそ気づく心のチェンジ(案)
 - ・御所市教育委員会へ後援依頼中。
2. 維持員研修会開催について(吉田代表世話人)
 - ・参加人数が、20名(6月22日現在)。目標人数達成まで努力し、がんばりましょう。
 - ・6月29日(月)地区委員会までに参加者名簿を整理しますので、欠席、返信なしの方へ各地区委員が呼びかけてください。
 - ・講師宿泊が吉田実家に決まりました。
 - ・7月18日(土)の参加は、正副代表世話人、次代リーダー2名、青年クラブ長、女性クラブ長の6名。19:00より始まりで、講師を囲んで会食を行います。会費2,000円(当日徴収)。
3. 女性クラブ(田村女性クラブ長)
 - 1) 7月11日(土)女性の集い開催
 - ・テーマ 家庭の絆
 - ・参加目標人数 30名
 - ・案内状を作成中、6月29日(月)地区委員会に配布します。
 - 2) 7月5日(日)県協議会女性クラブ主催の講演会、8名参加予定です。
4. 青年クラブ(細川成樹氏)

6月19日(金)委員会開催。平成22年4月に奈良県青年クラブの企画する催しは、現在、企画中で後日報告します。

審議事項

1. 本部講座集団受講計画について(吉田代表世話人)

種々考慮いたしましたが、今年は集団受講は出来ません。来年度以降で計画したいと思います。
2. 高齢会員と休会などの取り扱い方について、7月5日(日)20:00~総務委員会及び正副代表世話人で検討し、次回の運営委員会で審議します。

「やすらぎ」編集委員より御礼

先日、広報誌「やすらぎ」に関するアンケートにご回答いただき有難うございました。

回答数16通の内、

質問1、「やすらぎ」を読みますか?の質問に、

1)よく読む、2)ときどき読むを合わせて16人の方が丸印を。

質問2、広報誌は必要ですか?の質問に16人の方が必要に丸印を付けていただきました。

「やすらぎ」をどのような物にすればよいでしょうか?の質問には色々分かれていたのですが、今のままでよい2人、担当者の負担にならないように、と有り難い意見がありました。

回答数があまりにも少なかったので皆さんの意見が反映されたとは思っていませんが、委員一同「もう少しこのまま続けて行きましょう」という結果になりましたのでご報告させていただきます。

編集後記

皆様にかわいがっていただきました???
「均とマサヨの独逸見聞録」が一年足らずで終了してしまいました。その後、編集長よりトーマス・マツムラさんに記事のお願いをしたところ、こころよく承諾いただき早速今月より掲載させていただきましたことになりました。第一回目は、生かして歩くとなりました。お気に入りの写真と共に登場です。今後ともご愛読いただきますようよろしくお願ひします。

きん